

# 共に生きて

## 男性介護者 本音のつどい

悩み深いから共感

苦勞を分かち気持ちリセット

交流会で介護者  
況を報告する男性介護者  
たち 15日、福岡市



「お節介士」が支える  
大阪中心に100人超

交流会には、介護する側を支援する一般社団法人「日本エルダーライフ協会」(大阪市)の柴本美佐代・代表理事も参加し、地域介護を支える人材育成を目指して独自に制定した資格「お節介(せっかい)士」について紹介した。

お節介士は、介護を始めるときに必要な知識や情報を身に付けたボランティア。家族らの介護が必要となった人を孤立させないように声を掛け、専門家や介護の窓口につなぐ。3時間の養成講座を受講した人に認定証を発行。大阪を中心に108人が認証された。

堺市も地域介護を支える存在として注目。養成講座や勉強会の開催などを同協会に委託するなど連携している。柴本さんは「介護制度は初めての人にとって分かりにくい。そんな状況に困っている人を見つけてサポートするのがお節介士。介護者を支える地域のボランティアとして育てたい」と話している。